

令和2年6月24日開催 第40回定時株主総会 開催概要



当社は、以下のとおり定時株主総会を開催いたしました。

※この資料は、第40回定時株主総会の開催概要をホームページでお知らせする目的で作成したものであり、法定の「株主総会議事録」とは異なります。

開催日時： 令和2年6月24日(水曜日)午前10時00分～午前10時46分

開催場所： ハイアットリージェンシー東京 センチュリールーム
(東京都新宿区西新宿二丁目7番2号)

当日出席株主数： 37名

会議の目的事項：

報告事項

1. 第40期(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第40期(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)計算書類報告の件

事業報告概要

【2020年3月期の業績】

2020年3月期の業績は、売上高2,605億円(前期比107億円減)、営業利益327億円(同81億円増)、経常利益320億円(同36億円増)、親会社株主に帰属する当期純利益213億円(同20

億円増)となりました。

セグメント別に見ていくと、デジタルエンタテインメント事業は前期比減収増益となりました。その内訳として、HDゲームは、複数の新規大型タイトルが発売された2019年3月期からの反動減による前期比減収、コンテンツ制作勘定にかかる評価損を計上したこと等により営業損失、MMOは、「ファイナルファンタジーXIV」「ドラゴンクエストX」で実施した拡張パッケージ販売の好調と月額課金会員数の増加による前期比増収増益、スマートデバイス・PCブラウザ等は、「ロマンシング サガ リ・ユニバース」「ドラゴンクエストウォーク」の好調による前期比増収増益となりました。

アミューズメント事業は、店舗運営が堅調に推移したものの、アミューズメント機器販売の売上減により、前期比で減収減益となりました。

出版事業は、デジタル媒体(アプリ及び電子書籍)の販売が大幅に増加する一方、紙媒体も好調で、前期比で増収増益となりました。

ライツ・プロパティ等事業は、自社コンテンツの新規キャラクターグッズ等の発売があったため、前期比で増収増益となりました。

貸借対照表では、コンテンツ制作勘定の2020年3月末での残高が714億円となっていますが、これは、デジタルコンテンツの売上高成長を実現するための先行投資の指標ととらえています。

【2021年3月期の業績予想】

新型コロナウイルス感染症拡大によって、アミューズメント事業におけるアミューズメント施設の再開時期、再開後の店舗運営の見通し等を現時点で予測することが困難であり、当社の事業全般に及ぼす影響を算定できないことを主な要因として、今期の業績予想を未定としました。今後、業績予想が発表できる段階になりましたら速やかに開示いたします。

【中期業績目標】

中期業績目標(売上高3,000~4,000億円、営業利益400~500億円)を達成しうる事業構造の確立には概ね成功したと考えています。中期計画の最終年度である今期において目標を達成できるかどうかは、業績予想が算定できるようになった時点で判断したいと思えます。

決議事項

第1号議案:取締役(監査等委員である取締役を除く。)6名選任の件

第2号議案:監査等委員である取締役3名選任の件

第3号議案:補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

決議事項は、いずれも原案通り可決されました。

質疑応答概要

<質問1>

今期を最終年度とする中期経営計画の業績目標(売上高3,000~4,000億円、営業利益400~500億円)の達成は、今後発売する大型ゲームタイトルの販売成績次第とのことですが、それらのタイトル発表はいつどのように行うのでしょうか。

<回答1>

新型コロナウイルス禍により、E3などの大型展示会が相次いで中止・縮小されていますので、

それらに依存せず、当社グループ独自の広告宣伝活動を実施してまいります。タイトル毎に最適な時機を選んで発表を行っていく予定です。

<質問2>

いわゆる「ステルス・マーケティング」に関する当社グループの考え方、及び実施例があればその具体的内容について教えてください。

<回答2>

当社グループは、「ステルス・マーケティング」(消費者に宣伝とは分からない態様で製品・サービスの宣伝を行うこと)は行わないこととしており、従って実施例もありません。外観上、当社が「ステルス・マーケティング」を行ったかのように見える事例があったとすれば、それは著名人が自発的に情報発信を行ったものであり、当社グループの依頼によるものではありません。

<質問3>

第3号議案の候補者の略歴を見ると、補欠ではなく、むしろ監査等委員である取締役に適任であるように見受けられますが、なぜ補欠なのでしょう。

<回答3>

候補者は、当社監査室長として内部監査の責任者を務めています。監査等委員である取締役とは役割が異なるため、現時点では補欠候補とするのが適任と判断しました。

<質問4>

取締役候補者9名のうち7名が社外取締役ですが、社内からの取締役登用を増やした方がよいのではないのでしょうか。

<回答4>

当社は純粋持株会社として、当社グループ全体の経営管理を行うことが事業目的です。従って、当社の取締役会は、いわゆる「モニタリング・ボード」として、執行監視を行う必要があり、社外取締役かつ独立役員を中心に構成するのが適切であると考えています。他方、当社グループの事業会社については、業務執行に責任を負わせる観点から、社内の執行責任者を中心に取締役会を構成しています。

<質問5>

渋谷PARCOには、ゲーム会社やコンテンツ会社が直営ショップを出店していますが、当社グループは大型商業施設に出店する考えはないのでしょうか。

<回答5>

当社は、物販・飲食の直営店舗を独自に展開しています。大型商業施設への出店については個別具体的に検討いたします。